

諮 問 書

佐市企政第81号
令和2年9月17日

佐賀市個人情報保護審査会
会長 村上英明様

佐賀市長 秀島 敏行



佐賀市個人情報保護条例第10条第1項第2号に基づき、個人情報の電子計算機の結合について、下記のとおり貴審査会の意見を求めます。

記

- 1 諮問内容
市民等から提出される申請書（口座番号、口座名義人等）等に係る個人情報の電子計算機の結合について
- 2 電子計算機の結合を行う目的
別紙1のとおり
- 3 電子計算機の結合を行う個人情報
別紙2のとおり
- 4 電子計算機の結合を行う時期
令和2年10月から（予定）
- 5 個人情報の適切な取扱いに関する措置
別紙3のとおり
- 6 所管課
企画調整部 企画政策課

1 背景

本市においては、近年職員数が減少傾向にある一方で、様々な制度改正への対応、地方分権の動きに伴う事務の移譲、人口減少への対応など、職員1人あたりの業務量は年々増大している。しかしながら、生産人口の減少による地方税の伸び悩みや、少子高齢化による扶助費の増大等により、厳しい財政状況は今後も続くことが見込まれ、職員を増やすことによる業務負担の軽減は困難な状況にある。そのような中、国は、平成31年4月に働き方改革関連法を施行し、年間の時間外労働の上限規制を設けたところであり、本市としても職員の業務負担軽減のための早急な対策が求められている。

2 電子計算機の結合目的

職員増による業務負担軽減が困難なことから、その代替策として、令和元年度からRPAやAI-OCR等の最先端のICT技術を活用した定型業務の自動化・省力化を進めている。

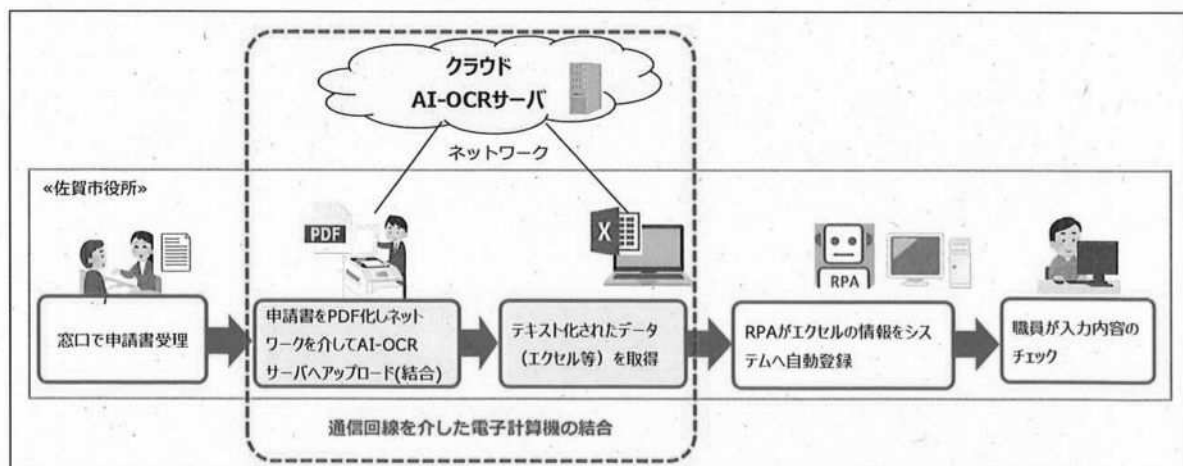
① RPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）

パソコン上の作業（マウスを操作する、メールを開く、ファイルを開く・保存する、コピーした情報をシステムに登録する 等）を全て自動化するソフトウェア。大量処理する定型業務の自動化が可能で、業務効率化のツールとして民間企業や自治体に急速に広まっている。

② AI-OCR（人工知能を活用した光学的文字認識技術）

紙に記載された活字、手書き文字等を読み取り、データ化（テキスト化）する技術。RPAで自動化することができる作業はパソコン上の作業に限定されるが、AI-OCRの活用により紙ベースの申請書の内容をデータ化することで、申請情報のシステム登録作業等をRPAによる自動化に繋げることが可能となる。AI-OCRは、ネットワーク上のクラウドサービスを活用するため、条例に定める電子計算機の結合が生じる。

《RPAとAI-OCRの連携による業務自動化イメージ》

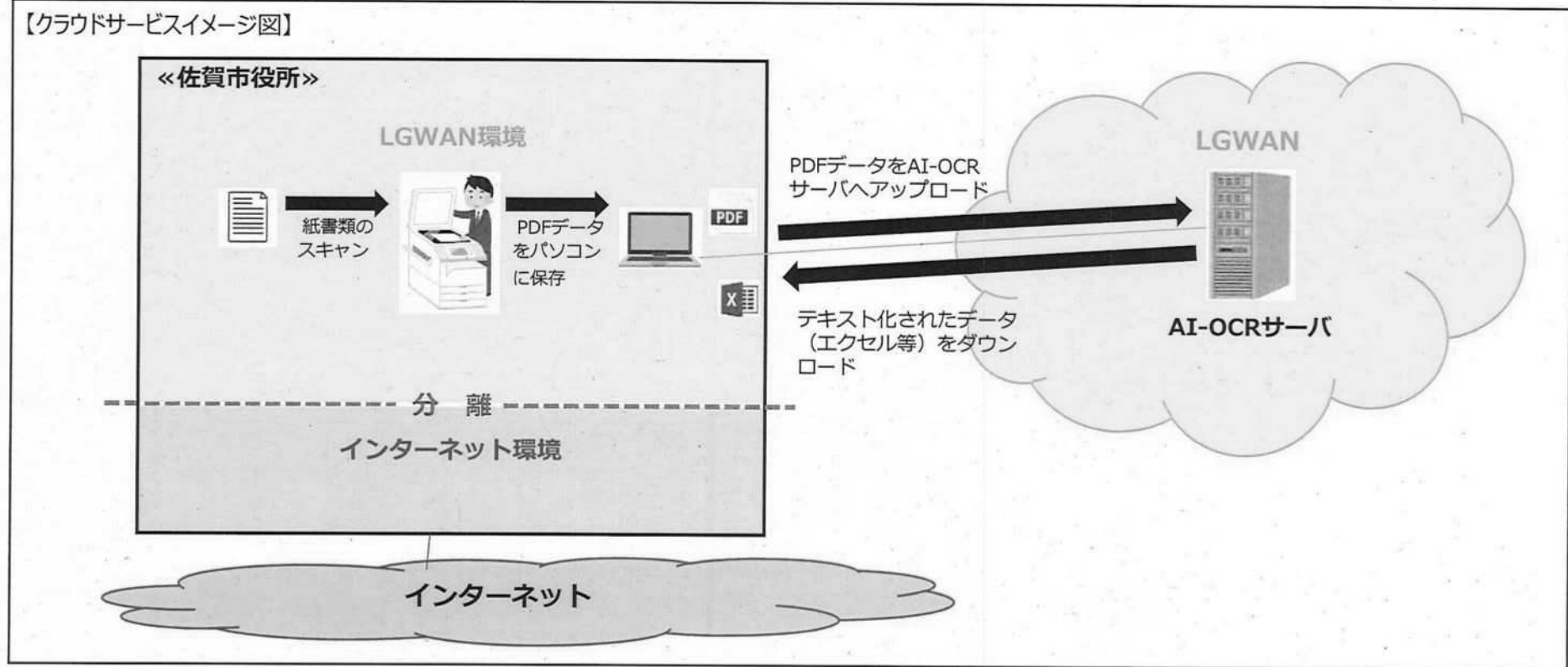


■ 個人情報の適切な取り扱いについての措置

① セキュアなネットワーク上でのサービス利用

- ・今回利用を想定しているAI-OCRは、ネットワーク上のクラウドサービスだが、インターネット回線ではなく、**LGWAN回線を利用したクラウドサービス**を利用予定
- ・LGWANは、物理的に地方公共団体及び官公庁とのみ繋がった回線であり、外部（インターネット含む）からの侵入ができない**最もセキュアな外部通信回線**
- ・佐賀市役所内部の環境も、インターネット回線とLGWAN回線は分離されており、接触していない

【クラウドサービスイメージ図】



② 利用職員への研修の実施

- ・AI-OCRの利用部署に対しては、利用に関するマニュアルを整備した上で、担当職員への研修を実施し、適切な利用を徹底する。

■令和2年度から取り扱うもの

分野	区分	所管課名	取扱う主な個人情報
教育分野	学校教育	教育総務課 学校教育 学事課	・保護者氏名、生徒氏名、住所、電話番号等 ・口座番号、口座名義人、金融機関コード等
	文化・図書	社会教育課 文化振興課 図書館	・利用者氏名、住所、電話番号等